

多層仮設住宅モデルルーム公開のお知らせ

2011年7月6日

ボランティア・アーキテクト・キットワーク(VAN)+坂茂建築設計では、多層仮設住宅建設のためのモデルルームを作りました。これまでにVANは東日本大震災後、避難者の家族間のプライバシーを確保するため、50ヶ所を超える避難所に1700ユニットの間仕切りを設営してきました。一方で、沿岸部被災地には十分な平地がないため、必要な仮設住宅を建設するのが難しい状況にあります。その解決策として多層(2、3階建)仮設住宅の設計を行い、このたび宮城県女川町に188戸を建設することになりました。1日も早い完成を目指し、その準備と新しいタイプの仮設住宅の紹介としてモデルルームを作り一般公開することにしました。

この多層仮設住宅は以下の特徴があります。

- 1、多層化することにより、従来の平屋タイプより多くの戸数が同じ土地に建てられる。
- 2、棟間隔を大きくする(8~11m)ことにより、敷地全体の環境を良くできる。
- 3、ゆったりした配置の敷地にさまざまな公共施設(マーケット、児童図書館、アトリエ/ギャラリー、集会場、カフェ)や駐車場が設置できる。
- 4、6m(20フィート)のコンテナを市松模様に積み、コンテナとコンテナの間の開放的な空間にLDKを入れることにより住環境が良くできる。
- 5、コンテナの使用により、耐震性が高い上、断熱性、遮音性の高い住宅となる。
- 6、仮設住宅として使用した後、移築が可能で恒久的なアパートや寮として再使用が可能。

記

公開日時 2011年7月17日(日) 11:00AMから

場所 宮城県女川町総合運動場内 野球場外脇(ホームベース側)

*17日以外のご見学については、下記までご連絡ください。17日以降は工事現場事務所としての利用になります。

設計 坂茂建築設計、ARUP Japan(構造設計)

施工 TSP 太陽株式会社

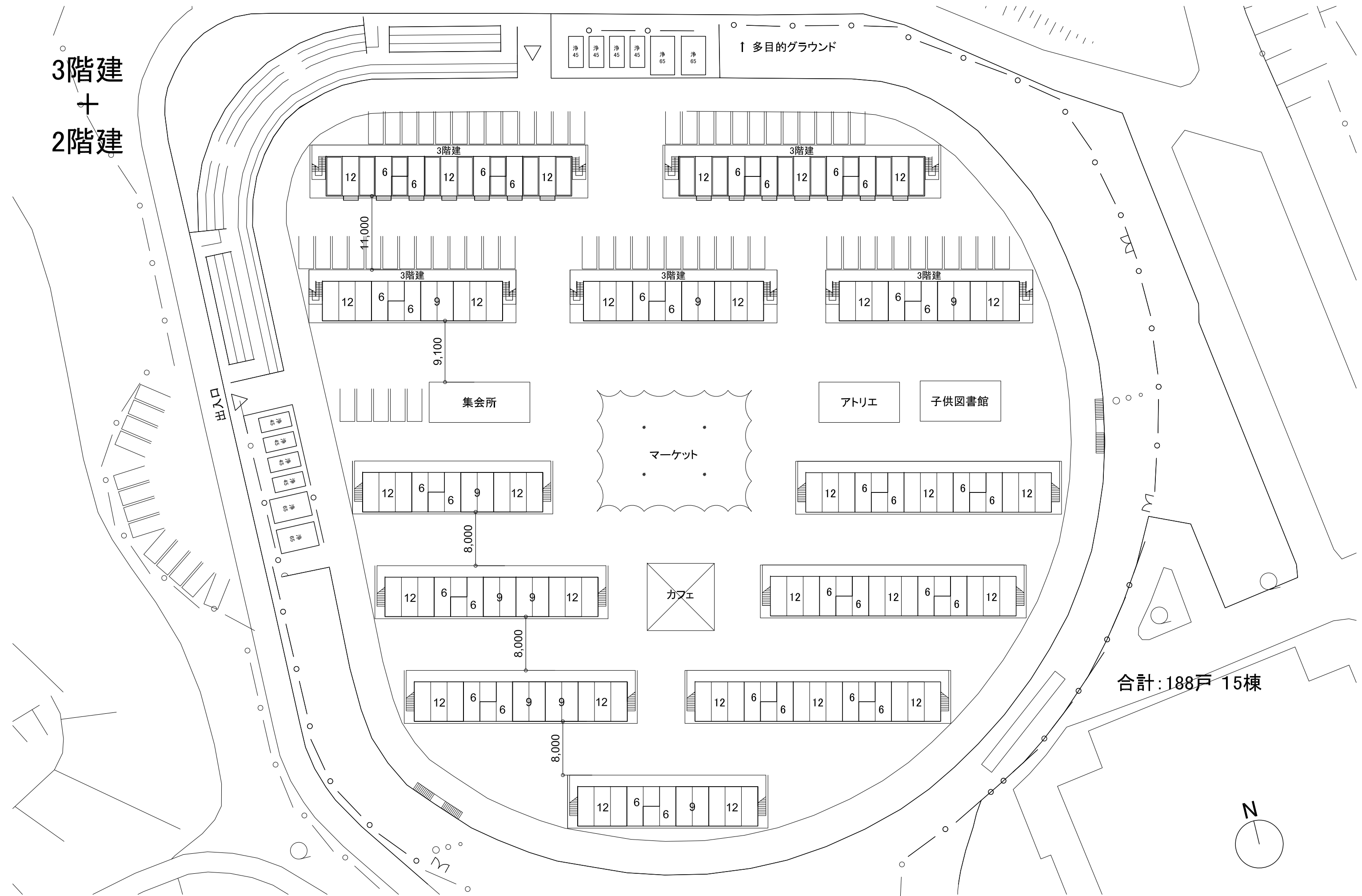
連絡先：坂茂建築設計 担当：渡部 TEL: 03-3324-6760

email : rwatabe@shigerubanarchitects.com

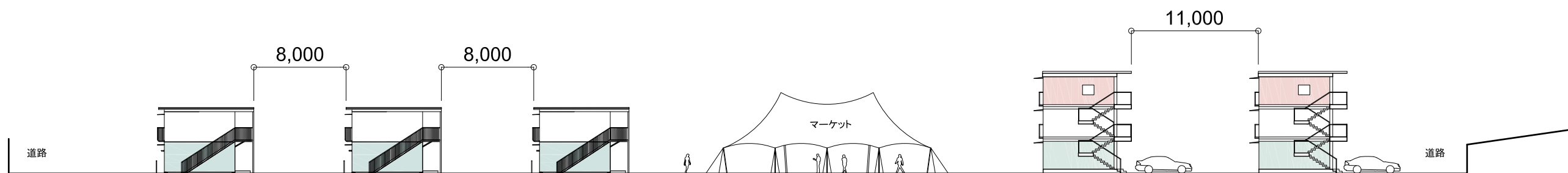
http://www.shigerubanarchitects.com/SBA_NEWS/SBA_van_p2.htm

添付資料：配置図、棟間隔を示す断面図、住戸プラン(典型的な9坪タイプのもの)、完成イメージ、模型写真、

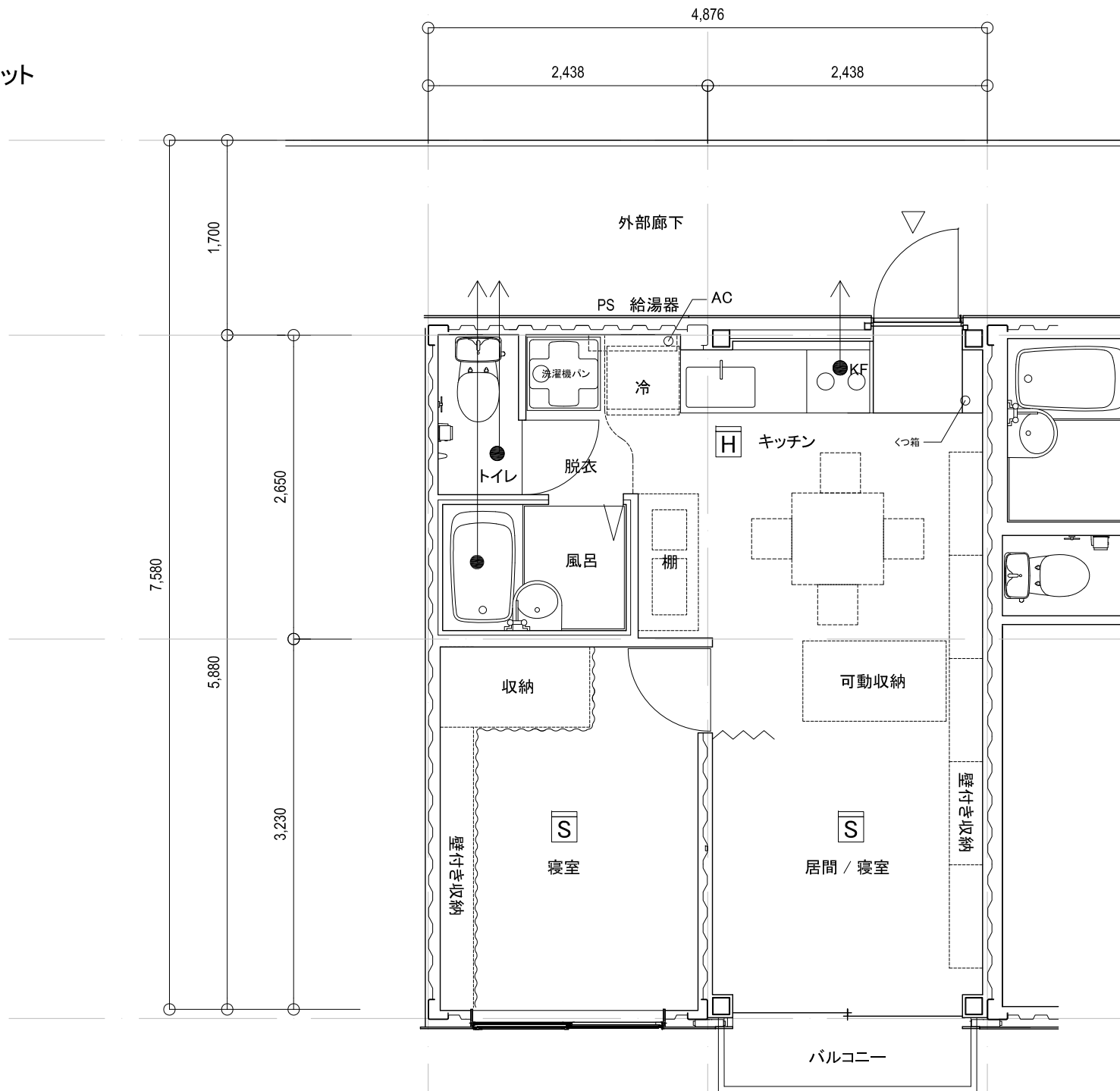
3階建
+
2階建



合計: 188戸 15棟



A ユニット



9坪タイプ：
2DK
28.68㎡ (8.6坪)



